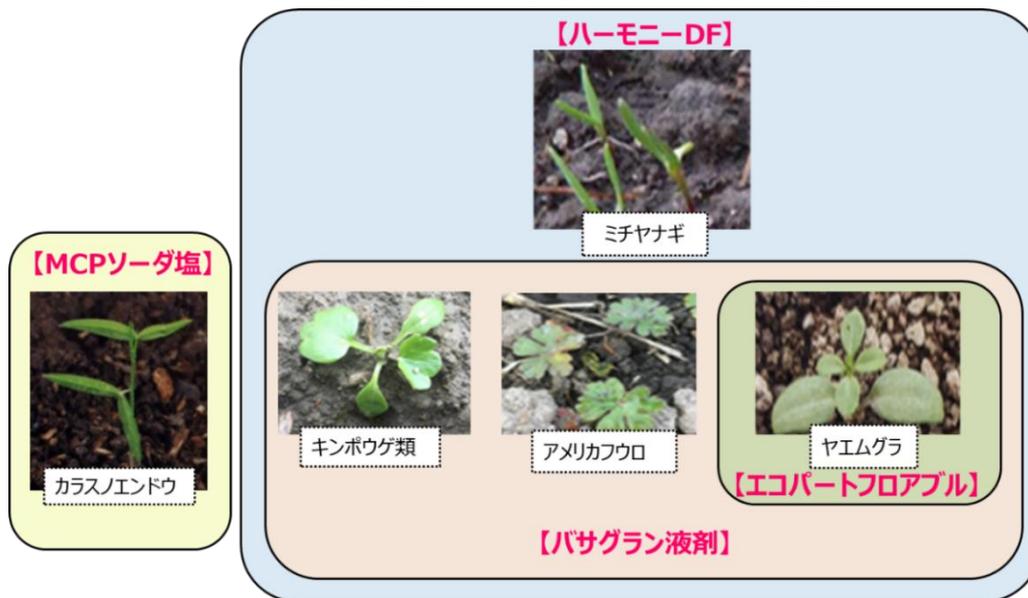


栽培情報 1月号 ～麦中間管理作業について～

令和7年1月30日
JA みづま・久留米普及指導センター

12月以降気温が低く経過したため、11月中旬播種と12月以降の播種の間で生育に差が生じています。また、ミチヤナギやアメリカフウロ、キンポウゲ類等の雑草が発生しているほ場が見受けられます。圃場をよく観察し、中間管理作業を適期に実施しましょう。

1 雑草防除 発生した雑草に応じて、茎葉処理除草剤を選択しましょう！（下図参照） ＜広葉雑草に対する除草剤の効果範囲＞



薬剤名	適用雑草	使用時期	10a 使用量	備考
ハーモニ-DF	一年生 広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・タデ類に効果が高い ・スズメタマゴ、ヤムグラ、 カラスノエンドウ、ミチヤナギは 10g/10a を目安
		節間伸長開始期～ 穂ばらみ期まで (収穫 45 日前まで) ※大麦、裸麦は節間伸長 前までしか使えません	3～10g (水 100L)	
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	生育期 (小麦：収穫 45 日前まで) (大麦：収穫 90 日前まで)	100～200ml (水 70～ 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・キンポウゲ類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が 高い
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (収穫 45 日前まで)	50～100ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤムグラに効果が高い ・散布後、葉に白斑、白点 などが生じるが、その後の 生育には影響しない。
MCP ソーダ塩	一年生 広葉雑草	幼穂形成期 (収穫 45 日前まで)	200～300g (水 70～ 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスノエンドウに効果が高い ・気温が高いほど効果が安定 ・<u>分げつ抑制のおそれがあるため、茎数を十分確保してから</u>

<農薬登録上の使用時期の目安>

	2月			3月			4月
	上	中	下	上	中	下	上
ハ-モニ-DF	→ 大麦			→ 小麦			
バグ ラソ液剤	→ 大麦			→ 小麦			
エコパ-ト70アブル	→						
MCPソーダ 塩				→			

2. 麦踏み・土入れ 晴天で土が乾燥している時に行いましょう！

○土入れ（倒伏防止・雑草防除・表面排水促進）

実施時期

本葉3、4枚頃から茎立ち1週間後頃（3月上旬）までに3回程度実施。

注意点

- ・麦踏み直後には土入れしない。（麦が埋もれる）
- ・排水対策のため、土入れ後は鍬などを用いて畝溝と枕の横溝の交差部分の溝さらい、排水口との連結を行いましょう。

★ポイント

追肥後に土入れをすると肥料の効果が安定します！



○麦踏み（分けつ促進・倒伏防止・早期茎立ち抑制）

実施時期

本葉3、4枚頃から茎立ち期（2月下旬頃：草丈20～25cmまでが目安）までに3回程度実施。

実施間隔

麦踏み後、麦が再度立ち上がってから実施する。（目安：10日程度の間隔）

※追肥がまだ終わっていない場合は早急に行いましょう。（施用量と時期は12月号参照）

●農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意しましょう。

”安全”な農作業と農薬使用を徹底しましょう！